

令和
七年

世界遺産の夜元興寺寄席

9/26(金)

〈落語家〉笑福亭 生寿 (しょうふくてい せいじゅ)



2007年、笑福亭生喬に入門。同年、「茶白山でまるかじり」にて初舞台。古典落語を初演する「笑福亭生寿新ネタ発表会」、笑福亭一門の若手会「たけくらべの会」、東京の立川らく次師匠と「宝塚を語る落語会 ツカメンズ!!」、また天満天神繁昌亭でも年に1度自身の会を開催。

〈三味線〉

はやしや 絹代 (はやしや きぬよ)



〈落語家〉露の 紫 (つゆの むらさき)



リポーターとしての話術の勉強に天満天神繁昌亭「落語家入門講座」3期生として入塾。2008年「ふくい女性落語大会」で知事賞受賞。その後、露の都に入門、プロの落語家に。「暮らしにもっと笑いを〜笑いの健康法〜」「落語も安全も一歩先読む余裕から」などテーマは多岐にわたる。

〈落語家〉桂 九寿五 (かつら くすだま)



2020年、米朝一門の桂九雀に入門。高校3年生の頃、落語が好きで好きで土日には天満天神繁盛亭へ通うほどに。ある日の昼席で桂九雀師匠の高座を見て、入門するならこの人と決め、入門を申し出る。以来修行を積んで今日に至ります。元気いっぱい頑張ります！

9/27(土)

〈落語家〉桂 三度 (かつら さんど)



1992年、漫才コンビ・ジャリズムとして芸能界デビュー。1998年のコンビ解散後は放送作家として活動する傍ら世界のナベアツとして「3の倍数と3のつく数でアホになる」ネタで一躍人気者に。2011年、六代桂文枝に弟子入りし、芸名を桂三度に改名。2012年に初高座。

〈三味線〉

佐々木 千華 (ささき ちか)



〈講談師〉旭堂 小南陵 (きょくどう こなんりょう)



2001年、旭堂小南陵 (四代目旭堂南陵) に入門。OL、俳優を経て講談師に。2015年、第70回文化庁芸術祭新人賞受賞。2016年、八尾市文化新人賞受賞。2016年11月、五代目旭堂小南陵襲名。2019年、大阪市此花区に講談中心の演芸場「此花千鳥亭」オープン。2020年、大阪文化祭奨励賞受賞。

〈落語家〉桂 小留 (かつら ちろる)



2012年、桂小枝に入門。同年9月28日天満天神繁昌亭夜席「小枝のらくご2012」にて初高座。BSよしもと 枕-1グランプリ 初代チャンピオン、第1回 よしもと若手落語家 裏ネタ王決定戦 王者。阪神タイガースと女性アイドルと簡単な自炊をこよく愛しています。

9/28(日)

今宵は元興寺だからこそ
「東の旅」シリーズ

〈落語家〉笑福亭 純瓶 (しょうふくてい じゅんぺい)



1984年、笑福亭鶴瓶に入門の三番弟子。古典、新作はもちろん、怪談ライブや、「奈良町落語ふえすていばる」など落語関係の企画運営などもこなすマルチ落語家。「元興寺寄席」にはレギュラー出演！主な会は「春鹿寄席」「土曜いてーたいむ寄席」「ほろよい寄席」「豊中芸人倶楽部」「ゑびす寄席」「神農寄席」

〈三味線〉

はやしや 絹代 (はやしや きぬよ)



〈落語家〉林家 染八 (はやしや そめはち)



2011年、五代目林家小染に入門。2014年6月「年季明け」で初高座。父は五代目林家小染。母は寄席三味線奏者の入谷和女。叔母は桂あやめ。得意ネタは珍しい物が多く「地獄八景」「池田の猪買い」「大阪名所」「常太夫義太夫」等がある。

〈落語家〉桂 八十助 (かつら やそすけ)



2021年、桂八十八に入門。介護福祉士、介護支援専門員の資格を持つ。長年福祉に携わっていましたが、心機一転 上方落語の世界に飛び込みました。今までの経験を活かし、また皆様のご指導を賜りながら青雲之志をもって多くの人に笑顔を届ける噺家を目指します。